

2023年3月期 第2四半期決算説明資料

2022年11月1日
株式会社セゾン情報システムズ
(東証スタンダード市場：9640)

1. 2023年3月期第2四半期 決算ハイライト
2. 重点施策
3. 2023年3月期 通期業績見込み

Appendix

2023年3月期第2四半期 決算ハイライト

連結 (単位: 百万円)	2023年3月期 第2四半期累計			前年同期比較	
	実績	修正予想 2022/10/12	当初予想 2022/5/12	実績	増減率
売上高	11,728	11,700	11,000	11,231	+ 4.4%
営業利益	1,130	1,100	600	1,226	▲ 7.8%
経常利益	1,142	1,100	600	1,235	▲ 7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	654	650	500	958	▲ 31.7%

財務指標

自己資本比率 **68.9%** 前期末より ▲1.9 ポイント

概況

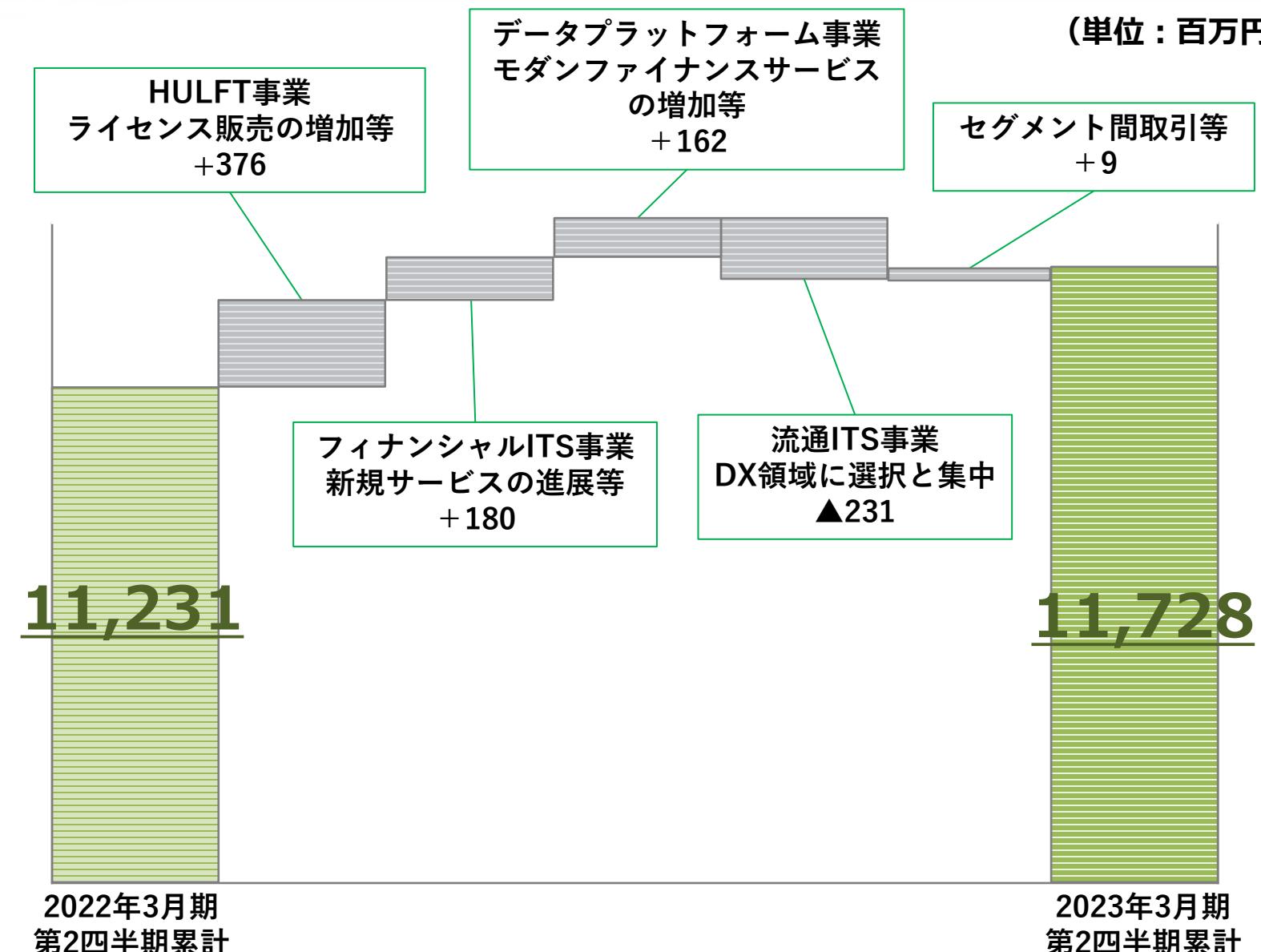
- 売上高は、HULFT事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により、増収となりました。
- 営業利益及び経常利益は、今後のDX案件需要増に対応するための体制強化や前年同期に利益率の高い案件があったこと等から、減益となりました。
- 当期純利益は、基幹システム導入計画の見直しにより特別損失が発生したため、減益となりました。

連結売上高

連結売上高推移



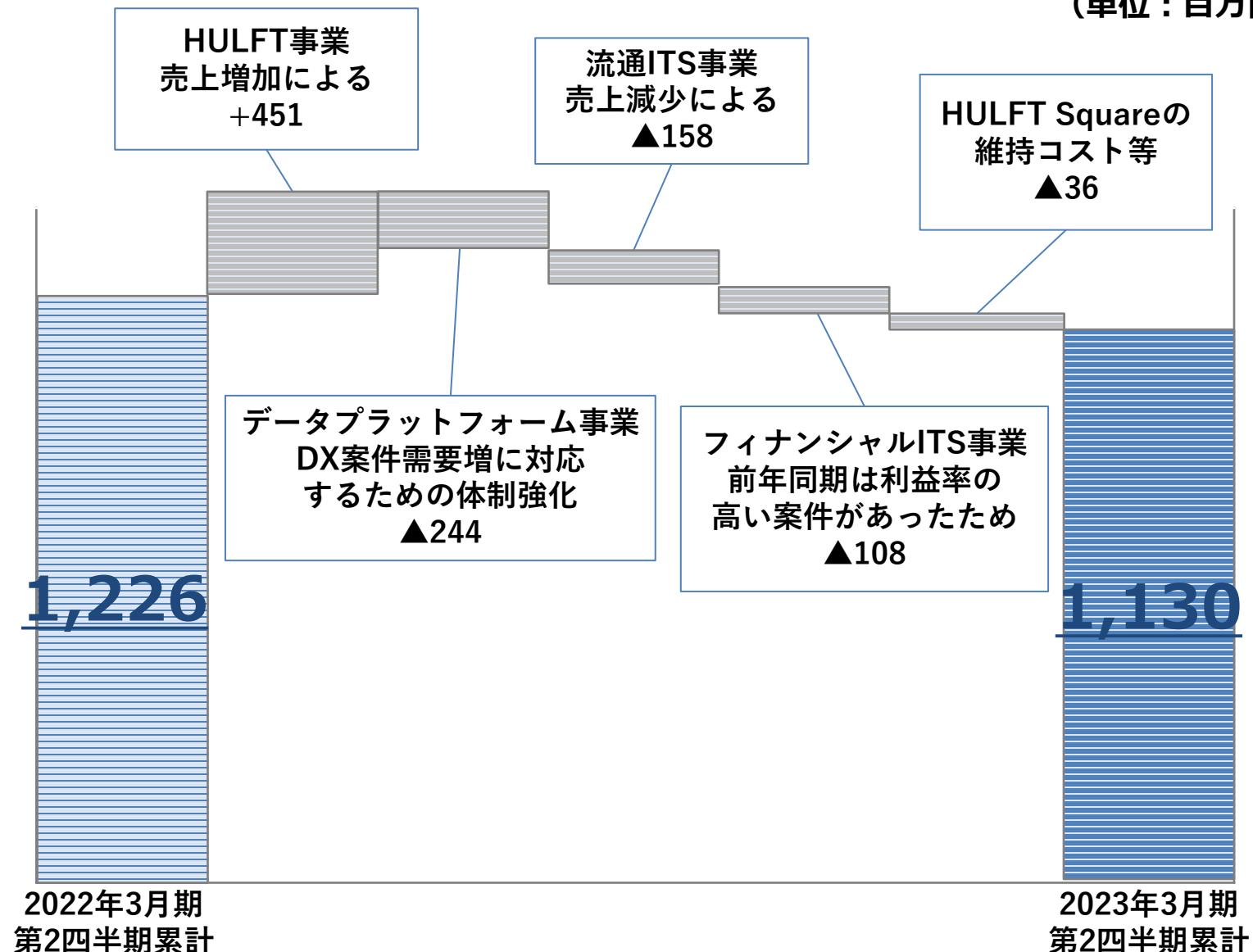
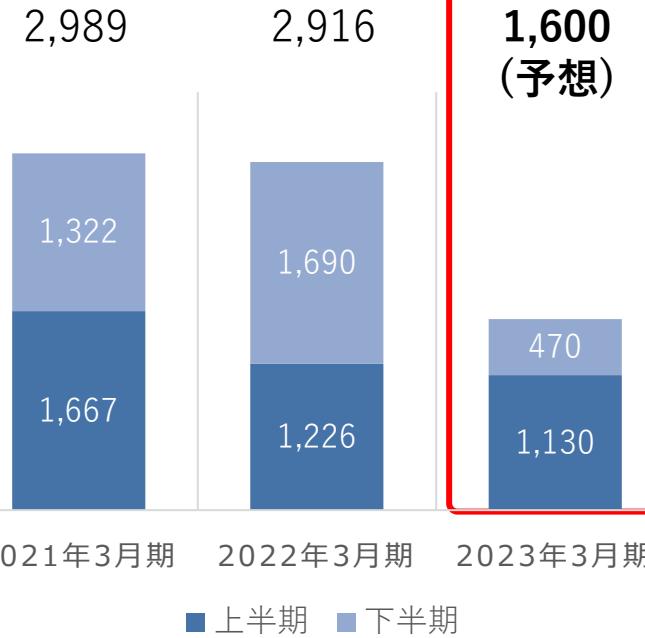
(単位：百万円)



連結営業利益

(単位：百万円)

連結営業利益推移



セグメント別売上高・営業利益

(2023年3月期 第2四半期累計)

連結 (単位: 百万円)	売上高		営業利益	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
HULFT事業	4,608	+ 8.9%	1,854	+ 32.2%
データプラットフォーム事業	1,060	+ 18.1%	▲ 373	- ※1
流通ITサービス事業	1,315	▲ 15.0%	▲ 65	- ※2
フィナンシャルITサービス事業	4,765	+ 3.9%	540	▲ 16.7%
その他調整額※3	▲ 21	-	▲ 825	-
合計	11,728	+ 4.4%	1,130	▲ 7.8%

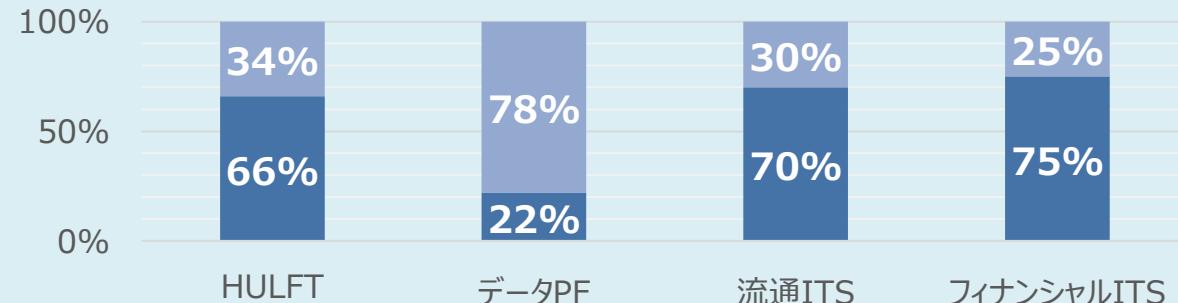
※1.前年同期は▲129百万円

※2.前年同期は92百万円

※3.セグメント間取引やセグメントに配分していない営業費用等

■セグメント別売上高 ストック／フロー比率

■ストック ■フロー



連結貸借対照表

連結 (単位: 百万円)	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期との比較		
		実績	増減額	増減率
流動資産	17,327	16,365	+ 962	+ 5.9%
固定資産	4,286	4,468	▲ 182	▲ 4.1%
資産合計	21,613	20,833	+ 779	+ 3.7%
流動負債	6,385	5,755	+ 630	+ 11.0%
固定負債	337	330	+ 7	+ 2.2%
負債合計	6,723	6,085	+ 637	+ 10.5%
純資産合計	14,890	14,748	+ 142	+ 1.0%
負債・純資産合計	21,613	20,833	+ 779	+ 3.7%
自己資本比率	68.9%	70.8%	▲ 1.9P	

主な 増減要因

- ・現金及び預金の増加等により流動資産は増加
- ・償却と基幹システム導入計画の見直しに伴う減損等により固定資産は減少
- ・前受金の増加等により流動負債は増加
- ・四半期純利益の計上等により純資産が増加

重視する経営指標

経営指標

2023年3月期

2022年3月期

ROE20%
(自己資本利益率)

8.9%
※通期予想値

14.3%

TSR
(株主総利回り)
※2018年3月期水準を100としています

116.87%
※2022年9月末時点

124.68%

DOE10%
(自己資本配当率)

9.9%
※通期予想値

10.1%

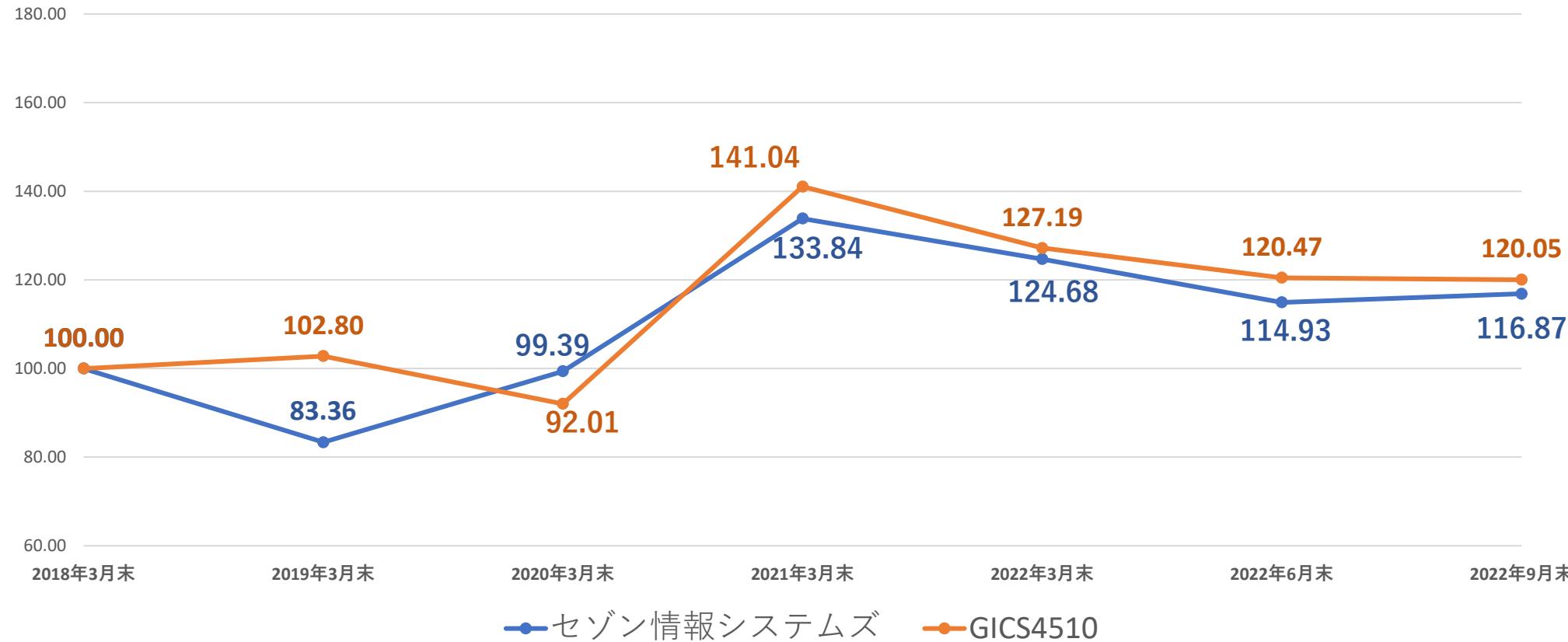
自己資本比率50-75%

68.9%
※2022年9月末時点

70.8%

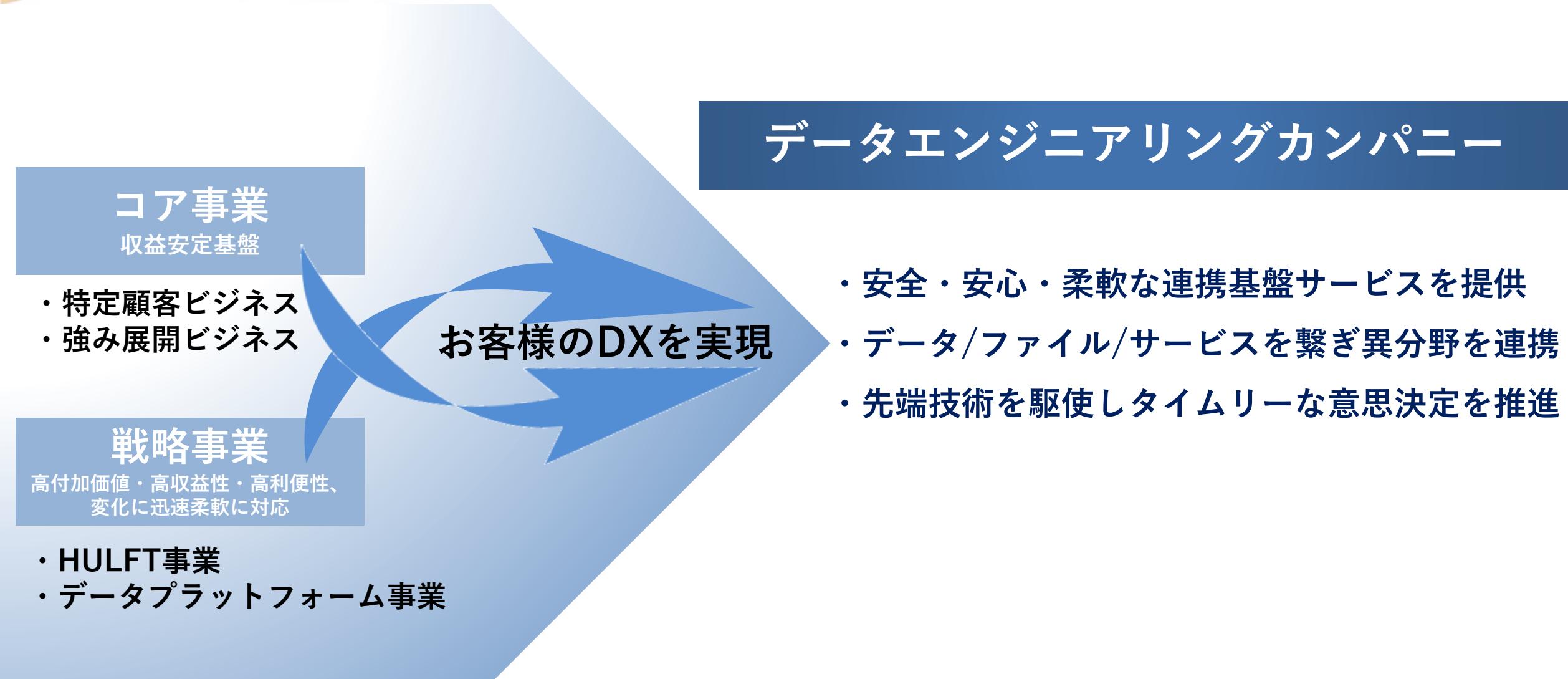
TSR(Total Shareholders Return)ベンチマーク

TSR比較グラフ (単位：%)



- ・評価期間：2018年3月期末を基準（100%）として評価
 - ・比較対象：GICS（世界産業分類基準）産業グループ「4510：ソフトウェア・サービス」約300社
- ※なお、当社取締役の報酬体系にもTSRを採用しています。

重点施策



1

DXデータ連携基盤ビジネスの全部門への展開

- Data Integrationを主軸にHULFT Squareによるサービスへシフト
- サービス型ビジネス(リカーリングビジネス)実行体制の構築

2

新規ビジネス創造のための競争戦略

- ポジショニングの明確化と優位性の確立
- コネクタ戦略および提供方法の推進

3

アライアンス強化

- SaaSベンダーなどテックパートナーとのコラボレーション、M&Aを含む企業間連携強化
- 販売チャネルの業界別・ユースケース別強化

4

HULFT Squareリリースに伴う体制強化

- 開発体制：DevOpsを視野に入れた組織間連携・リリースの迅速化
- 運用体制：保守更新からカスタマーサクセスへの展開

5

人材戦略

- 次世代リーダーの積極登用、大規模採用による人員増強、および社員への投資
- 組織間ローテーション、リスキリングによる人材活性化やDDP*活用によるDX人材育成

*DDP：データドリブンプラットフォーム（当社社内ITシステム）の略。

独立する社内システムからデータを集約し、社員自らデータ活用を可能とするプラットフォーム

2023年3月期
重点施策

Topics : 「HULFT Square」 国内向けリリース日決定！

- ✓ 先行ユーザー様へのサービス提供が進展
- ✓ 国内向けリリース日は、「2023年2月9日」に決定！
- ✓ グローバル展開も見据えて開発継続

◆先行ユーザー様向けリリース完了

PRESS RELEASE
報道関係各位
2022年8月30日

次世代クラウド型データ連携プラットフォーム『HULFT Square』先行ユーザー向けリリース

株式会社セゾン情報システムズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：黒山 誠、以下「セゾン情報システムズ」）は、昨年秋を発売した次世代クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square（ハルフスクエア）」を、先行ユーザー向けにリリースすることを発表いたします。

さらにそのほかは、2022年度第4四半期に日本同時リリースを予定しております。

HULFT Squareは、自由で安全なデータ活用のための新プラットフォームサービスです。高度なセキュリティのとともに、国や業界・業種を超えた多様なデータの連携が可能にし、データ活用のリスクと手間を削減すること、お客様が理屈とするデータビジネスへの実現を支援します。

HULFT Squareの今後の実現される機能について

今回から新たに提供されるのは、ユーザーがログインする際のメニューや認証機能、サポートや請求機能などに必要とされるバックオフィス機能を運用開始しております。さらにジョブ実行の管理やETL（Extract, Transform, Load）、抽出、整形、統合、MFT（マネージドファイル転送）/HULFT 連携といったサービス提供が必要な中堅部分を実装しています。

また、本リリースより、様々な企業で利用されているSaaSとの連携が可能なコネクタを19種類50コネクタに増やし、基盤にご利用いただけようになりました。

＜コネクタ種類一覧（フルファット版）＞

HULFT Squareコネクタ種類					
Amazon EventBridge	Amazon Web Services	Box	DB2	MySQL	SAP
Email	FTP	Google Cloud Storage	Google Workspace	ORACLE	S/4HANA Cloud
HULFT	JDBC	Kintone	Microsoft Azure	PostgreSQL	REST
Salesforce	SAP	SQL Server			

box Google Cloud kintone

HULFT Squareの詳細については、https://www.hulft.com/service/hulft_squareをご覧ください。

■報道資料
本社：〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目1番地
設立：1979年8月1日 代表者：黒山 誠（代表取締役社長） 資本金：13億67百万円
事業内容：HULFT基盤、データプラットフォーム事業、流通ITサービス事業、フィナシカル、ITサービス事業
証券コード：9440（東京証券取引所スタンダード市場） URL：<http://www.saison.co.jp/>

＜報道関係者様からのお問い合わせ＞
株式会社セゾン情報システムズ 広報
担当：山本 TEL: 050-3189-2648 (直)
PR@z2.saison.co.jp (E-mail)

セゾン情報システムズについて
・「HDFI」(Dataflow Service) 「HULFT DataGateway」、その他の製品名は、セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
・その他の会社名、商品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

◆国内向けリリース予定日決定！

2023年
2月9日（木）

**HULFT
SQUARE**

HULFT DAYS 2022

セゾン情報システムズ

DXのバラバラを、
スルスルに。

2022.11.8.tue.-10.thu.

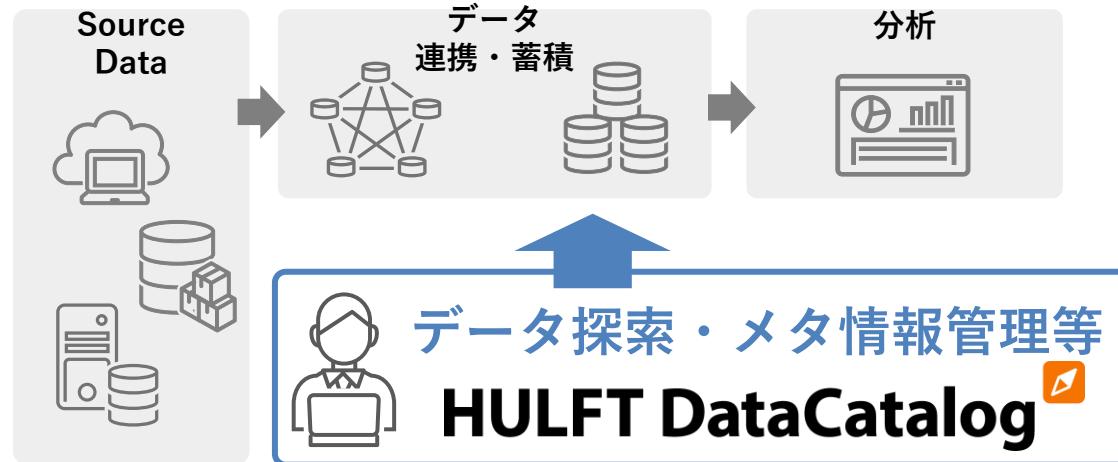


Topics : 事業拡大

- ✓ パートナー企業とのDXコラボレーションが加速
- ✓ 自社社内システムのクラウド化からDX活用シーンを創出
- ✓ 更に、当社製品サービス群又はその開発技術の拡充を目的としたM&Aを検討

◆パートナーコラボレーション（一例）

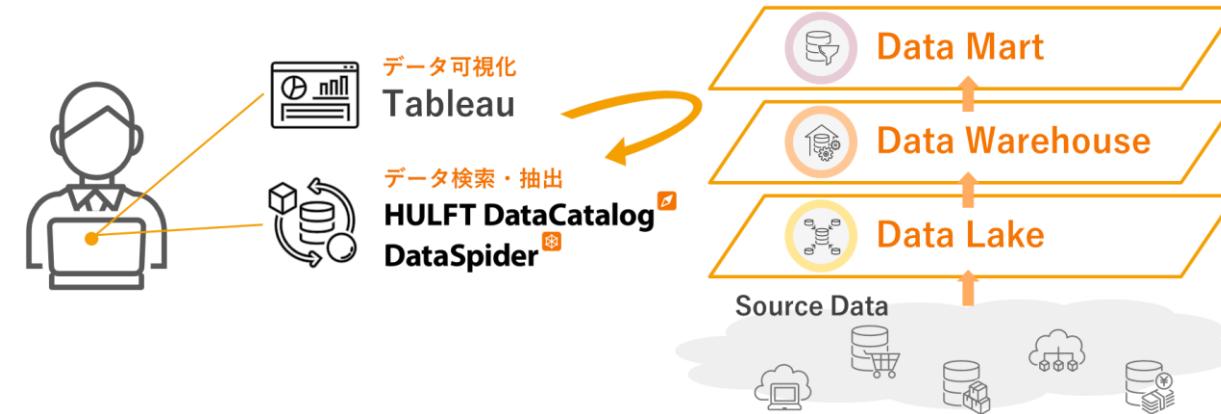
HULFT DataCatalogを活用した データガバナンス



◆自社システムからの利用シーン創出（一例）

データドリブンプラットフォーム 全社員自らデータの探索・可視化・分析を可能に

日々の業務の中で生まれた"ひらめき"や"仮説"を検証できる



Topics : 事業拡大

- ✓ 当社におけるサステイナビリティ
重要課題は人的資本拡充
- ✓ 積極的な採用・DX人材育成を推進

◆人材採用の進展

・新たに55名を内定・採用(通期採用計画は100名)

・ Skill Boot Camp 強化・継続
上半期で18名の採用・入社

- ・ ビジネスデベロップメント 5名
- ・ クラウドエンジニア 6名
- ・ サービスデザイナー 3名
- ・ フロントエンジニア 4名

(Skill Boot Camp経由の累計採用人数は40名へ)

・遠隔地勤務制度、リファラル、カムバック採用等、
新たな人事制度を積極的に導入

Freshers Lab(新人研修)



Freshers Lab
成果発表会

<各チーム発表テーマ>

- ・ 温室効果ガス排出量算出データ連携プラットフォーム
- ・ 購買データ連結プラットフォーム
- ・ 食品関連事業のチェーントレーサビリティ
- ・ TCFDに基づく企業のハザードリスク管理
- ・ 医療DXによる社会課題対策と医療データの利活用促進

▼遠隔地勤務制度

PRESS RELEASE
報道関係者各位
2022年10月5日

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS

場所にとらわれない柔軟な働き方を可能にする
「遠隔地勤務制度」を導入
社員のライフイベントに対応、デジタル人材の地方での採用活動も促進

遠隔地勤務の例（本社（東京都港区）勤務の場合）

乗車距離 2時間以上	乗車時間 2時間以上	在来線の場合： 仙台（約2時間）、新潟（約2時間10分）、 長野（約2時間10分）、名古屋（約2時間）
乗車距離 100キロ以上	乗車時間 100キロ以上	新幹線の場合： 熱海（約104キロ）、高崎（約105キロ）、 宇都宮（約112キロ）、群馬（約145キロ）
当直午前11時までにオフィス着	午前 11時着	在来線の場合： 群馬（約112キロ）、大洗（約136キロ）
飛行機の場合		飛行機の場合： 札幌、那覇

株式会社セゾン情報システムズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：葉山 誠、以下セゾン情報システムズ）は、2022年10月1日より、社員がオフィスから離れた地域に居住し、原則出勤をせずに働くことを可能にする「遠隔地勤務制度」を導入しました。ビジネスモデルがDXにシフトするなか、「通勤圏内」という従来の制約を取り払い、場所にとらわれず柔軟に働き続けられる環境を提供し全国からデジタル人材を確保することを目指します。本制度の対象地域となるのは、従来は出張に該当するところであった地域で、具体的には以下の2つの条件を満たす場所になります。

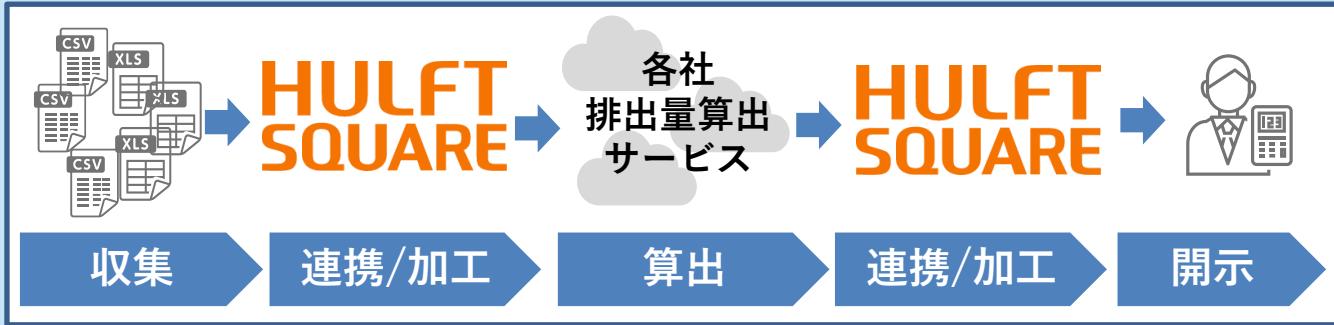
- ✓ 当社におけるサステナビリティ
重要課題は人的資本拡充
- ✓ 積極的な採用・DX人材育成を推進

◆DX人材育成の強化

サステナビリティやESGの観点で社会に貢献 「HULFT Square」を活用した新規事業企画

(一例)

散在するデータの統合、算出システムの連携により
サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量算出を推進



オウンドメディア「Color is」 社外有識者を招き講演へ <変革リーダーによる特別講義>



- Vol.1 「インフルエンサーマーケティングによる
データ活用の重要性とITエンジニアとしてのマインド」
(株式会社 BitStar 執行役員 CTO 山下 雄太氏)
- Vol.2 「エンジニアリング組織論への招待」
(株式会社レクター代表取締役 広木 大地氏)
- Vol.3(予定) KT氏 (Snowflake株式会社)

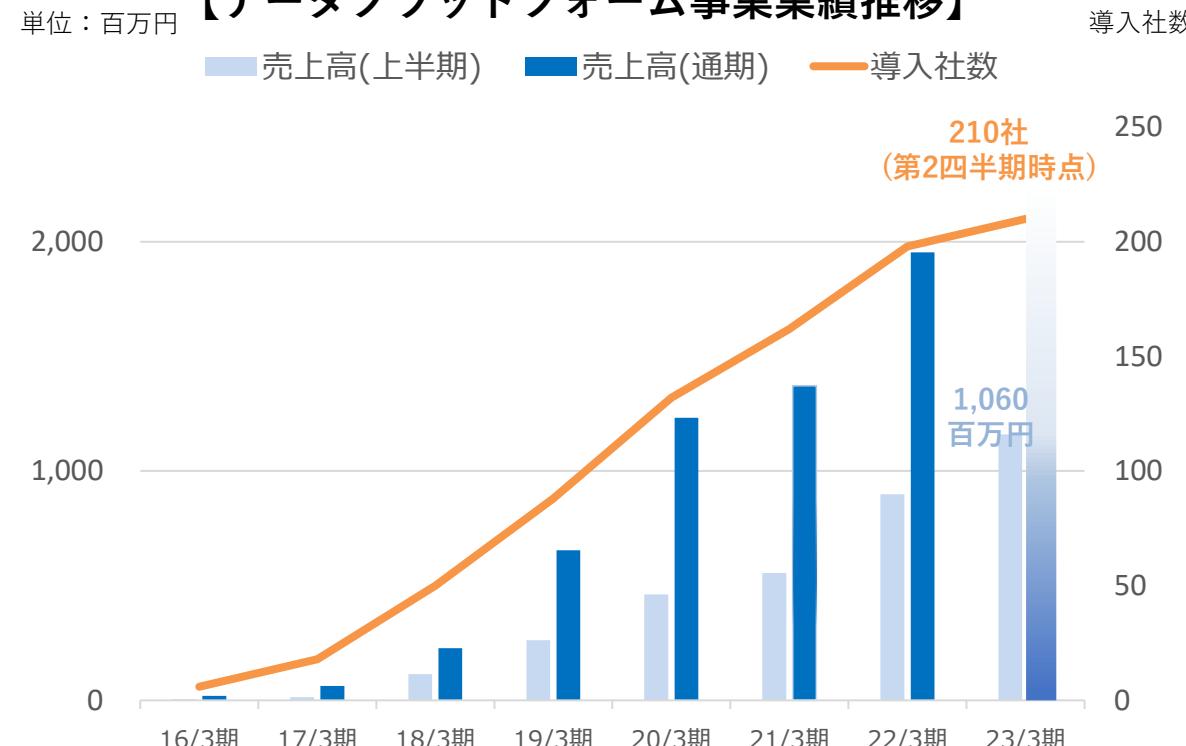
Topics : データプラットフォーム事業(リングサービス)拡大

- ✓ データプラットフォーム事業のビジネス規模は着実に成長
- ✓ データ連携・活用の上流をコンサルする「コンセプトデザインサービス」提供開始

◆ビジネス規模拡大

売上高 1,060百万円（前年同期比 +18.1%）
累計導入社数 210社（前期末比 +12社）

【データプラットフォーム事業業績推移】



◆リングサービスの拡大

「コンセプトデザインサービス」の提供開始

データマネジメントのあるべき姿を

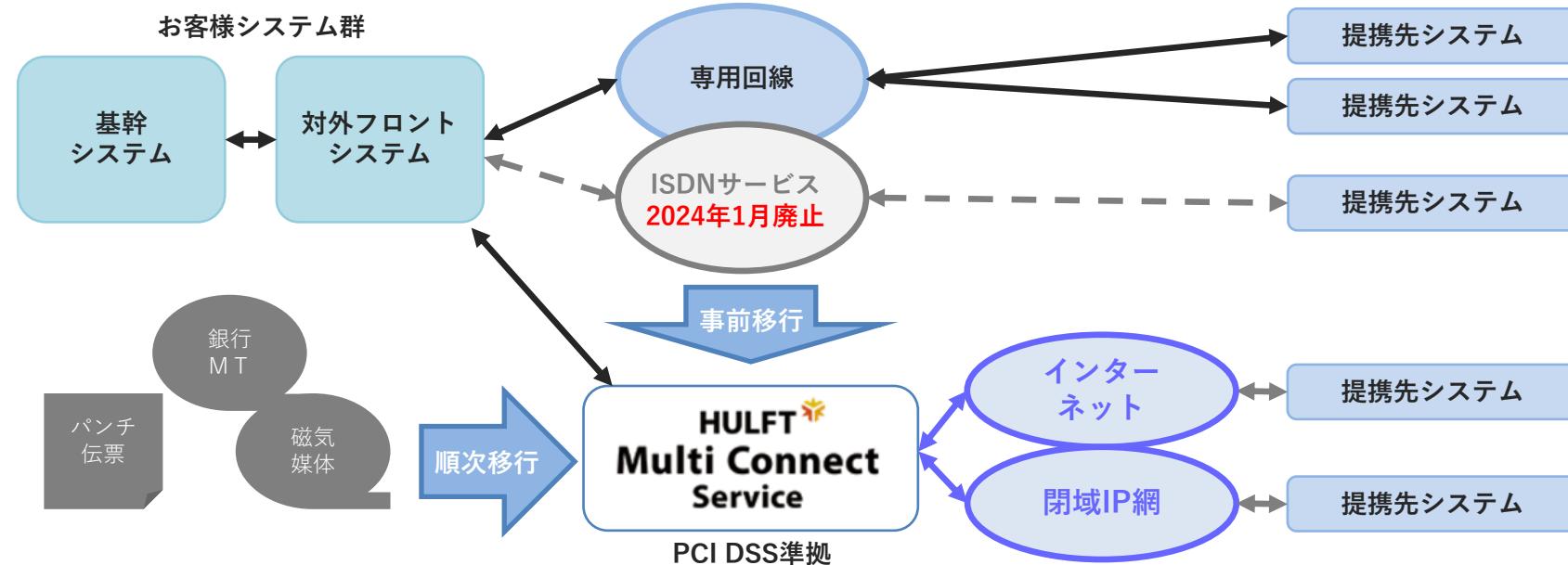
お客様と一緒にデザインするサービス

お客様のDX実現に貢献



- ✓ ISDNサービス終了を代替する
「HULFT Multi Connect Service」のライト版をリリース

◆HULFT Multi Connect Service利用イメージ



エンタープライズ版の基本機能そのままに、
中小規模システムのお客様でも利用しやすい価格帯にサービスラインナップを拡大

Topics : 外部評価・団体加入

～対外評価～

◆ 「HULFT」ファイル転送ツール シェアNo.1

- ・19年連続受賞
- ・データの利活用を背景として、オンプレミス/クラウド間のシステム連携や転送データ暗号化といった需要増加が市場拡大へ

◆2022 CRM ベストプラクティス賞(継続賞)受賞

- ・カスタマーサービスセンターから“お客様の成功への貢献”を掲げ
カスタマーサクセスセンターへ進化を遂げている好事例が評価

◆金色有功章(日本赤十字社)を受章

- ・前年度の営業利益の1%を、世界の生活者の生命・健康の増進や、飢餓・貧困からの救済活動を行っている団体へ寄付

～団体加入～

◆ノーコード推進協会に加入

- ・IT人材不足解消、日本全体のDXを進める



HULFT

※株式会社富士キメラ総研
「2004-2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」
「ソフトウェアビジネス新市場 2011-2012年版」
<ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース>
2003年度実績～2021年度実績

2022 CRM
ベストプラクティス賞
(継続賞)



当社は、日本赤十字社から「金色有功章」、
国から「厚生労働大臣感謝状」を授与されました。



2023年3月期 通期業績見込み

2023年3月期 通期業績予想（連結）

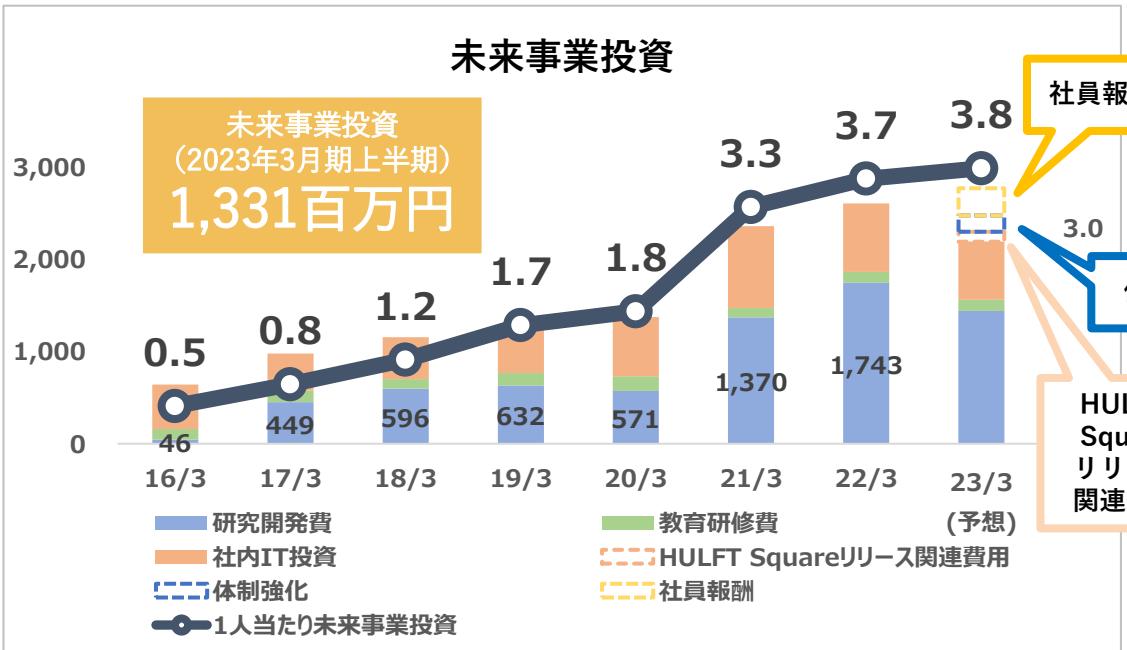
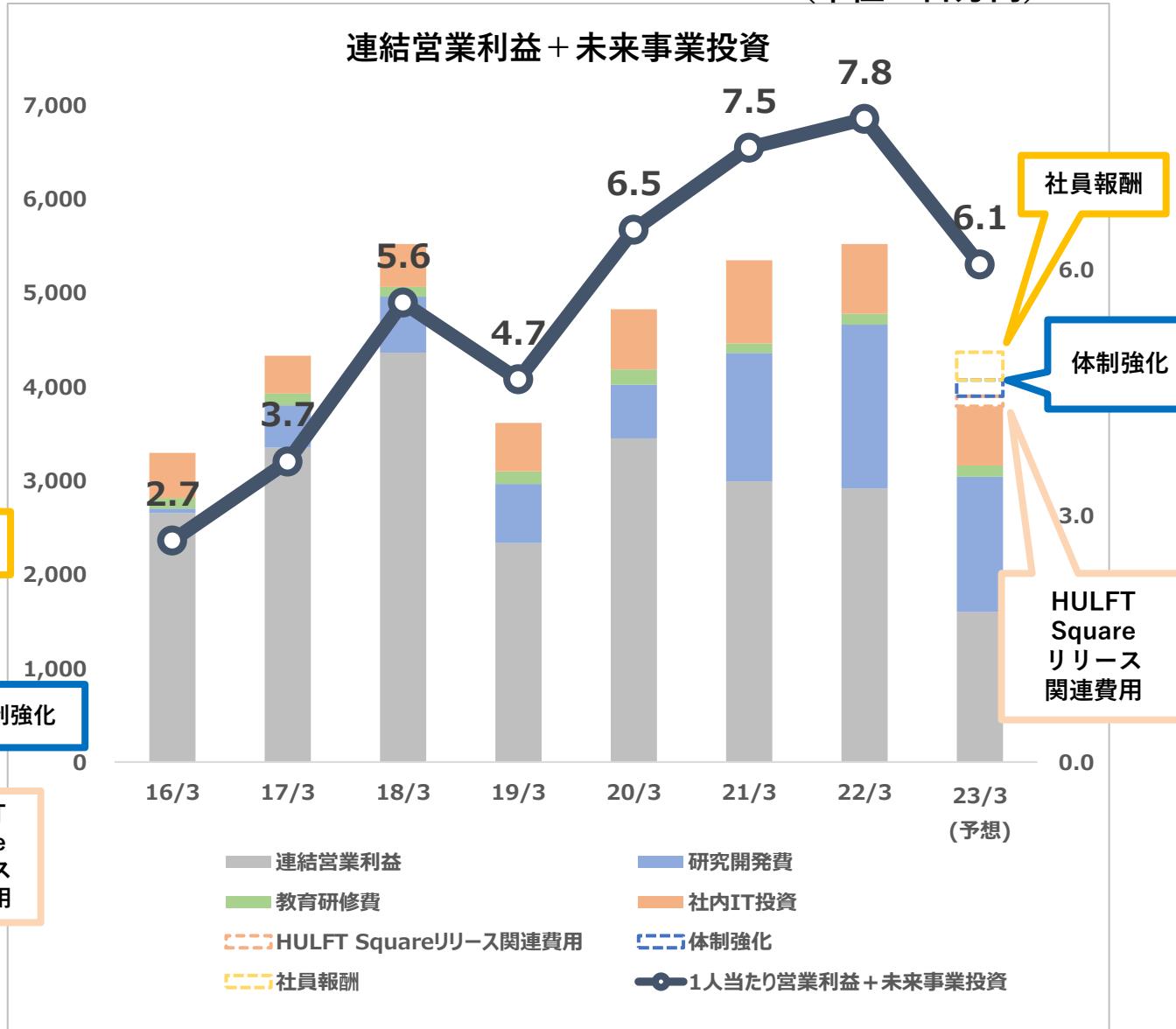
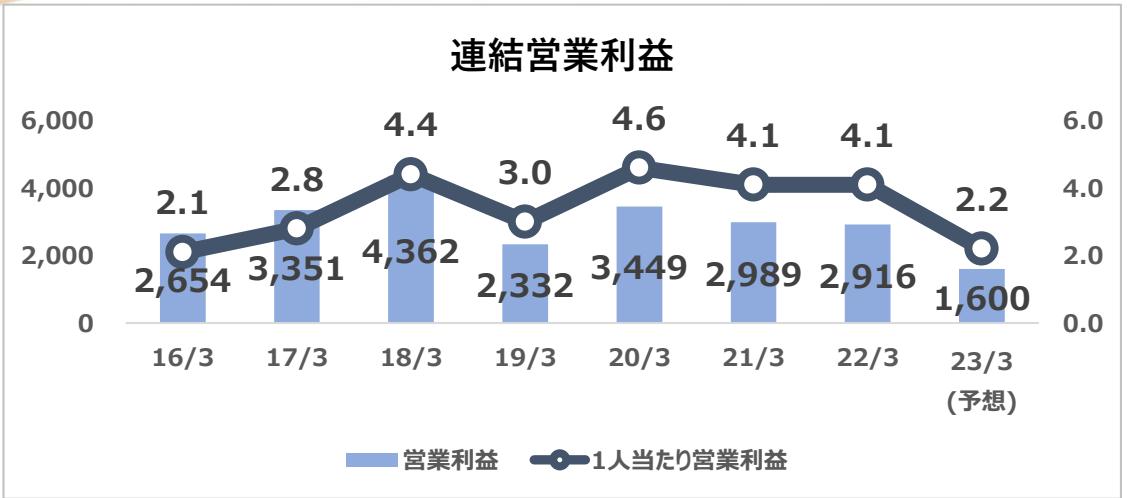
連結（単位：百万円）	2023年3月期 (業績予想)	2022年3月期との比較		
		実績	増減額	増減率
売上高	22,700	23,218	▲ 518	▲ 2.2%
営業利益	1,600	2,916	▲ 1,316	▲ 45.1%
経常利益	1,600	2,943	▲ 1,343	▲ 45.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	2,051	▲ 751	▲ 36.6%

備考

- ・ 売上高は、HULFT事業、データプラットフォーム事業の売上拡大を見込むものの、
フィナンシャルITサービス事業における既存領域の縮小等により、減収を見込んでおります。
- ・ 営業利益は、未来事業投資等及び売上高の減少により減益を見込んでおります。

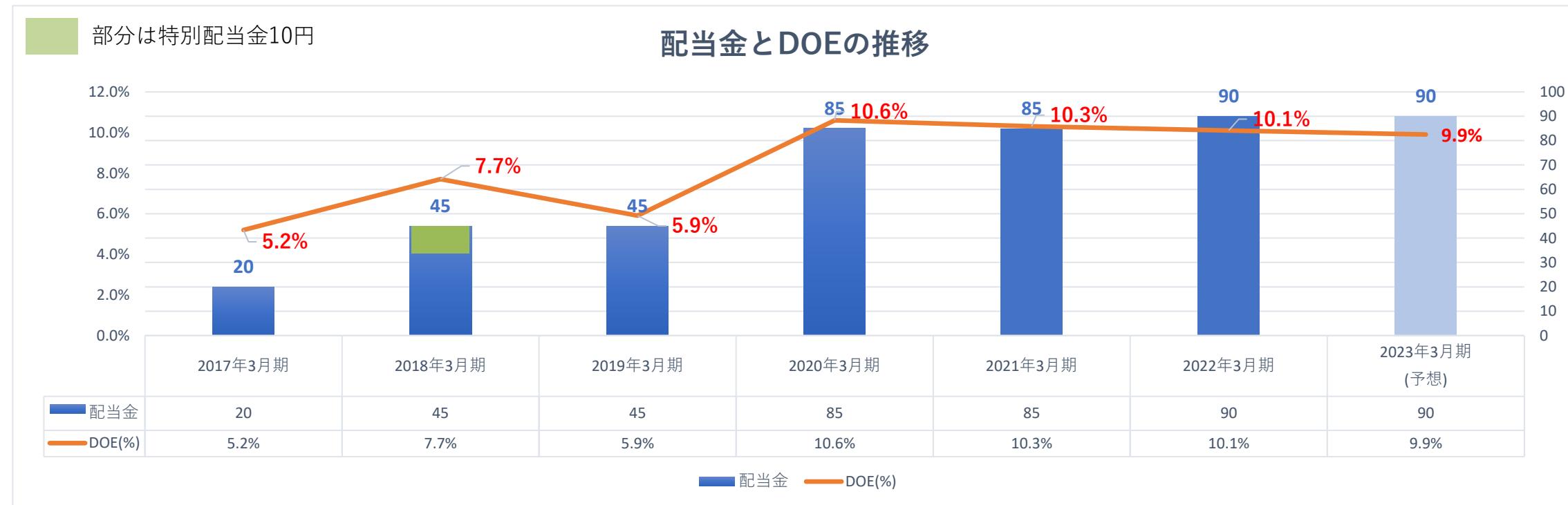
連結営業利益、未来事業投資の推移

(単位：百万円)



2023年3月期 配当予想

基準日	1株当たり配当予想			DOE
	第2四半期末	期末	合計	
2023年3月期 (予想)	45円	45円	90円	9.9%
2022年3月期	45円	45円	90円	10.1%



Appendix

A-1.2023年3月期第2四半期累計 連結受注実績

連結 (単位:百万円)	受注高			受注残高		
	前期との比較		2023年3月期 第2四半期累計	前期との比較		2023年3月期 第2四半期
	前期実績	増減率		前期実績	増減率	
HULFT事業	4,482	4,321	3.7%	4,002	3,957	1.1%
データプラットフォーム事業	1,053	982	7.3%	837	622	34.6%
流通ITサービス事業	1,257	1,530	▲17.8%	1,475	1,283	14.9%
フィナンシャル ITサービス事業	4,427	6,094	▲27.4%	5,258	5,179	1.5%
合計	11,221	12,928	▲13.2%	11,573	11,042	4.8%

A-2.2023年3月期第2四半期累計 主要顧客別連結売上高

連結 (単位:百万円)	2023年3月期 第2四半期累計		前年同期との比較			
	実績	構成比	前期実績	構成比	増減額	増減率
(株)クレディセゾン	3,821	32.2%	3,894	34.0%	▲ 72	▲ 1.9%
(株)日立システムズ	746	6.3%	686	6.0%	60	8.8%
(同)西友	657	5.5%	663	5.8%	▲ 6	▲ 1.0%
(株)アシスト	514	4.3%	398	3.5%	115	29.0%
(株)大塚商会	391	3.3%	281	2.5%	109	39.0%
(株)エヌ・ティ・ティ・データ	373	3.1%	266	2.3%	107	40.4%
(株)そごう・西武	322	2.7%	346	3.0%	▲ 23	▲ 6.9%
主要顧客売上高計	6,827	57.6%	6,537	57.1%	289	4.4%
他顧客売上高計	4,900	42.4%	4,693	42.9%	206	4.4%
連結売上高	11,728	100.0%	11,231	100.0%	496	4.4%

用語	詳細
BlackLine	クラウド型経理・決算システム
DataSpider	異なるシステムの様々なデータやアプリケーションを、豊富なアダプタを使ってプログラミング不要で自由につなぐデータ連携ツール
DIVA	クラウド型会計システム
HULFT	企業活動において発生する売上データや顧客情報、ログデータなど、ITシステムに蓄積されたデータの送受信を安心安全確実に行うデータ連携ソフトウェア
HULFT DataCatalog	散在したメタデータを収集・整理・カタログ化するツール
HULFT Square	次世代クラウド型データ連携プラットフォーム
Kyriba	クラウド型財務・資金管理システム
SAP Ariba	クラウド型調達・購買システム
SAP Concur	クラウド型出張・経費管理・請求書管理システム
SAP HANA Cloud	クラウド型ERPシステム
Snowflake	クラウド型データウェアハウス
Tableau	データを可視化するビジネスインテリジェンス（BI）ツール
TOGAF	エンタープライズソフトウェアの開発に適用できる概略的なフレームワーク
Zuora	クラウド型サブスクリプション支援プラットフォーム

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ
コーポレートデベロップメントセンター 経営企画室
E-mail ir9640@saison.co.jp
TEL 03-6370-2930

東京都港区赤坂1丁目8番1号
赤坂インターシティAIR 19F

<免責条項>

本資料は、決算の状況および今後の経営方針、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本説明会および資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、その実現・達成を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。